

取り扱い注意！ いま最も危険な思想書。

執念深い、貧乏性

栗原康・著

この社会はおそろしいもので、ほんとにもうちっちゃいころから、いい中学にいけ、いい高校にいけ、いい大学にいけっていわれてきて、うまくできなきゃ、オチコボレだ。こいつはつかえる？ つかえない？ つかえないやつは切りすてる？ 非生産的な人間は死んでもいい？ でき、そんなのイヤじゃん。

アナキズム学者、かく語りき。いましゃべらなければ、自由はどこにもないのだ。女相撲、オリンピック、奨学金、安倍政権、変態仮面、共謀罪、プリズム計画、即身仏、魔界転生、ディストピア、戦闘的退却主義、長渕剛……自分の人生を爆破せよ！

執念近い貧乏性◎目次 第一章 どすこい貧乏、どすこいセックス——女カ士はエイリアン第二章 変態は武装であり、武装は変態である——いくぜ、負け犬ど根性 第三章 自分の人生を爆破せよ——チャハハ！ 第四章 キムチだよ——なんどきいても、こたえはNothing 第五章 いくぜ犯罪、こいよ非国民——大泥棒、エドワード・スノーデン 第六章 自殺じゃねえよ、死体だよ——マジやべえ！ 第七章 血まみれのかあちゃん、ケツの穴、ファック——迷惑上等、暴走よし 第八章 一揆だべ！——鼻の命はノーフューチャー 第九章 ああ、セックスがしてえ！——山賊、山伏、よかチンチン 第十章 赤黒つけるぜ！——孤独を喰らえ、腹ペコだい 第十一章 ひなたぼっこからあげ事件——ハッハハハ、またな十兵衛！ 第十二章 ババア一擲——なにがわたしをこうさせたか

栗原康 (くりはら・やすし) プロフィール

一九七九年、埼玉県に生まれる。早稲田大学大学院政治学研究科・博士後期課程を満期退学。東北芸術工科大学非常勤講師。専門はアナキズム研究。趣味はビール、ドラマ観賞、詩吟。主な著書に『大杉栄伝——永遠のアナキズム』『村に火をつけ、白痴になれ——伊藤野枝伝』『死してなお踊れ——一遍上人伝』『菊とギロチン——やるならいましかねえ、いつだっていましかねえ』『アナキズム——丸となってバラバラに生きる』などがある。

インタビュー、書評などのお問い合わせ

文藝春秋「プロモーション部」

TEL03-3288-6142 pr@bunshun.co.jp

(文藝春秋刊 1800円＋税)